

新刊紹介



臨床・研究で活用できる！QOL評価マニュアル

監修 下妻 晃二郎
編集 能登 真一
発行 医学書院
定価 4950円（本体4500円＋税10％）

QOLをめぐる現代のさまざまなニーズに応えるべく、学術的知見をアップデートした新しいテキスト。医療・福祉分野で押さえておくべき46のQOL評価尺度を解説し、その特徴とともに開発者や開発時期、質問票、版權や採点方法など、使用の際に必要な情報を紹介する。QOLを学ぼうとする医療者のバイブルとなる書。



看護学生の勉強と生活まるごとナビ

自律的に過ごすための23のレッスン

執筆代表 片野裕美
発行 日本看護協会出版会
定価 1320円（本体1200円＋税10％）

看護学生に求められる勉強と生活がリアルにイメージできるガイドブック。「看護とは何か」から、講義・演習・実習の学びとおもしろさ、教科書の読み方やノートの取り方、定期テストや国家試験に向けた取り組み、コミュニケーションのアドバイスまで、イラストを交え具体的に紹介する。看護師をめざす人、現役看護学生に最適。



看護のための情報リテラシー

ICTを活用した情報科学の基礎からOfficeの操作まで

著 佐瀬雄治
発行 東京図書
定価 2750円（本体価格2500円＋税10％）

電子化が進む医療の現場では、コンピュータの基本的な知識が欠かせない。本書は、情報の活用や管理といった情報リテラシーの向上に向け、コンピュータの基礎知識や情報の取り扱い方、コンピュータ犯罪への対策、Officeなど業務で使用する各種ツールを解説する、看護教育の新カリキュラムに対応したテキスト。



看護白書 令和5年版

看護職員の処遇改善に向けて——キャリアに応じた賃金制度の見直し

編 日本看護協会
発行 日本看護協会出版会
定価 3960円（本体3600円＋税10％）

看護職員はその専門性にふさわしい処遇を受けているだろうか。本書は、1人ひとりが考え、実現に向けて行動することの大切さを伝える。さらに、看護職員の賃金制度にまつわる現状と課題、背景となる国の動きを解説するとともに、処遇改善に向けた日本看護協会のはたらきかけ、医療機関における好事例を紹介する。

